

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年4月3日 (2014.4.3)

【公開番号】特開2011-188853(P2011-188853A)

【公開日】平成23年9月29日 (2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2011-039

【出願番号】特願2011-32501(P2011-32501)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

C 0 7 K 16/32 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/06 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/68 A

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 16/32

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/574 A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

C 1 2 Q 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月17日 (2014.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体から分離した被検試料中の O A T P 1 B 3 (Organic Anion Transporting Polypeptide 1B3) m R N A の選択的スプライシングバリエーションの測定方法であって、

前記被検試料中の、配列番号：1 で表される塩基配列を含む m R N A を、配列番号：2 で表される塩基配列を含む m R N A と識別して測定することを含む、測定方法。

【請求項 2】

配列番号：1 で表される塩基配列におけるエキソン S V の存在を指標として、配列番号：1 で表される塩基配列を含む m R N A を測定する、請求項 1 に記載の測定方法。

【請求項 3】

前記エキソン S V を含む領域に設定したプライマーを一方のプライマーとして用いる核酸増幅法により、配列表の配列番号：1 で表される塩基配列を含む m R N A またはその c D N A の部分領域を特異的に増幅し、増幅産物を測定することを含む、請求項 2 に記載の測定方法。

【請求項 4】

前記プライマーの塩基数が 15 ~ 35 である、請求項 3 に記載の測定方法。

【請求項 5】

前記核酸増幅法が R T - P C R 法である、請求項 3 または 4 に記載の測定方法。

【請求項 6】

以下の条件を満足する核酸：

(1) 配列番号：1 で表される塩基配列を含む核酸とストリンジェントな条件下でハイブリダイズする；

(2) 配列番号：2 で表される塩基配列を含む核酸が共存する場合に、ストリンジェントな条件下で、当該核酸とハイブリダイズしないか、または、当該核酸とハイブリダイズした場合であってもその 3' 末端がミスマッチとなる。

【請求項 7】

配列番号：1 で表される塩基配列におけるエキソン S V を含む領域とハイブリダイズする、請求項 6 に記載の核酸。

【請求項 8】

塩基数が 15 ~ 35 である、請求項 6 または 7 に記載の核酸。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の測定方法により、生体 から分離した被検試料中の O A T P 1 B 3 m R N A の選択的スプライシングバリエーションを測定することを含む、がんの検出方法。

【請求項 10】

配列番号：1 で表される塩基配列を含む O A T P 1 B 3 m R N A の選択的スプライシングバリエーションを測定する、請求項 9 に記載の検出方法。

【請求項 11】

前記がんが大腸がんまたは膵臓がんである、請求項 9 または 10 に記載の検出方法。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の測定方法により、がん細胞 を被検物質の存在下で培養して得られる培養細胞中の O A T P 1 B 3 m R N A の選択的スプライシングバリエーションを測定する工程と、

得られた測定結果を、前記被検物質の非存在下における場合と比較および / または評価する工程と、

を含む、がんの予防および / または治療剤のスクリーニング方法。

【請求項 13】

配列番号：1 で表される塩基配列を含む、O A T P 1 B 3 (Organic Anion Transporting Polypeptide 1B3) m R N A の選択的スプライシングバリエーション。

【請求項 14】

(1) 配列番号：5、配列番号：7、配列番号：9、または配列番号：11 で表されるアミノ酸配列を含み、かつ、がん細胞またはがん組織において発現が増強するポリペプチド、あるいは、

(2) 配列番号：5、配列番号：7、配列番号：9、または配列番号：11 で表されるアミノ酸配列において、10% 以下のアミノ酸が置換、欠失、および / または挿入されたアミノ酸配列を含み、かつ、がん細胞またはがん組織において発現が増強するポリペプチド。

【請求項 15】

配列番号：5、配列番号：7、配列番号：9、または配列番号：11 で表されるアミノ酸配列からなるポリペプチド。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 または 1 5 に記載のポリペプチドをコードする核酸。

【請求項 1 7】

請求項 1 6 に記載の核酸を含む発現ベクター。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載の発現ベクターで形質転換された細胞。

【請求項 1 9】

請求項 1 4 または 1 5 に記載のポリペプチドに結合する抗体。

【請求項 2 0】

配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、または配列番号 1 0 で表される塩基配列を含む核酸とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、少なくとも 1 5 塩基を有する核酸。

【請求項 2 1】

生体から分離した被検試料中の、請求項 1 4 または 1 5 に記載のポリペプチドの量を測定することを含む、がんの検出方法。

【請求項 2 2】

請求項 1 9 に記載の抗体を測定に用いる、請求項 2 1 に記載の検出方法。

【請求項 2 3】

請求項 1 4 または 1 5 に記載のポリペプチドもしくはその断片、または、請求項 1 6 に記載の核酸もしくはその断片を含む、特異的な細胞傷害性 T 細胞を誘導するための がんワクチン。